御津中学校 80 周年記念式典

80 周年記念式典　式辞

２日前の降水確率 90%を皆さんの気持ちと思いで吹き飛ばしてしまったかのような本日、ご来賓の皆様、地域の皆様、そして保護者の皆様のご出席を賜り、ここに「豊川市立御津中学校 創立８０周年記念式典」を盛大に挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

昭和２２年（１９４７年）３月、教育基本法および学校教育法が公布・施行され、新制御津中学校が産声を上げました。しかし、その歩みは決して平坦なものではありませんでした。

御津町の歴史を今に伝える『御津町史』の８３１ページには、「御津中学校の創設」と題し、当時の混迷と熱気が克明に記されています。 戦後の物資不足と未曾有のインフレという大混乱の中、母体も下地もないゼロからの学校づくりが始まりました。資金も資材も全く足りない極限の状態において、町教育会を中心に町内の関係者や有志の方々が寝食を忘れて骨を折り、かき集めてくださった寄付金は、実に３００万円に上りました。当時の御津町の年間支出決算額が約８４万円であったことを思えば、これがどれほど破格で、町全体の未来を賭した決断であったかが分かります。

また、子どもたちが安心して学べる場所を確保するため、候補地を何箇所も巡り、議論と検討が重ねられました。そうした町一丸となった血の滲むような情熱とご尽力により、昭和２３年３月３日、ついに新しい校舎が完成したのです。 竣工式において、当時の愛知県知事・青柳英夫氏は祝辞の中で「愛知県下において最初の新校舎である」と称えました。愛知県で最も早く中学校が竣工したのです。何もない焼け野原のような時代に、どこよりも早く、どこよりも強く子どもたちの未来を信じて立ち上がったのが、ここ御津町の先人たちだったのです。

本日、式典に臨んでいる御津中学校の生徒の皆さん。 皆さんが毎日通い、学び、汗を流しているこの御津中学校は、単なる建物ではありません。八十年前、どんなに苦しい時代であっても「子どもたちに最高の教育を届けたい」と願った、地域の方々の深い愛と情熱によって建てられた「希望の象徴」なのです。このすばらしい歴史と誇り高き伝統をもつ学校で学んでいることに、大いに胸を張ってください。

そして地域の皆様、保護者の皆様。 先人たちが灯した教育への情熱の火は、80 年という時を超え、今も変わらずこの御津の地に受け継がれています。今日まで本校を温かく見守り、支え続けてくださったすべての皆様に、深く感謝申し上げます。

最後になりますが、御津中学校はこれからも、先人たちの誇りある志を胸に刻み、地域とともに歩み、未来を切り拓く豊かな人材を育んでいくことをここにお誓い申し上げます。

御津中学校の益々の発展と、本日ご臨席いただきました皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、創立８０周年の式辞といたします。

令和８年１１月５日 豊川市立御津中学校
第２５代校長　　峯村　邦泰

記念演奏の「フラワービートの皆さんもありがとうございました。










YAMAHA

